

速報展

発掘された遺跡

—平成25年度の調査成果—



関連企画

「多賀城市

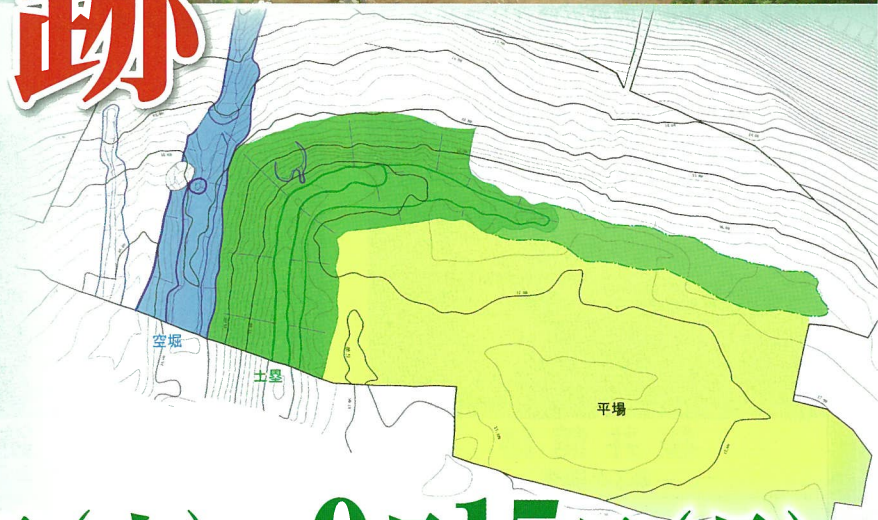
遺跡調査報告会」

日時:平成26年7月12日(土)

午後1時30分から

会場:多賀城市文化センター

第3・4会議室



平成26年6月28日(土)~9月15日(月)

開館時間 午前9時~午後4時30分/休館日 月曜日または祝日の翌日 8月11日(月)~8月18日(月)は館内くん蒸のため休館

観覧料 無料/会場 多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室(多賀城市文化センター内)

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27番1号 TEL:022-368-0134

平成25年度に多賀城市埋蔵文化財調査センターで実施した発掘調査は、東日本大震災からの復興と生活再建を目的とした個人住宅や共同住宅の建設、また大規模な宅地造成工事に伴う調査など、その件数は27件にのぼりました。

本展示では、発掘調査によって明らかになった古墳時代から江戸時代までの、その土地に刻まれた地域の歴史をいち早く紹介します。これによって、郷土への理解や愛着をさらに深めていただければ幸いです。

また、今回は宮城県教育委員会が実施した、多賀城跡第86次調査と山王・市川橋遺跡の発掘調査の成果も併せて紹介します。



多賀城跡第86次調査

多賀城創建期の材木堀跡と、その基礎地業が発見されました。材木堀跡は、この東側で確認されている八脚門跡と一連のものと考えられます。

さらに、材木堀廃絶後につくられた、石列を伴う通路状の盛土遺構が発見されました。

(写真提供：宮城県多賀城跡調査研究所)



山王・市川橋遺跡

古墳時代後期の竪穴住居跡や河川跡を発見しました。出土遺物などから、ここが当時の拠点的な集落であったと考えられます。

また、古代のまち並みの中の2つの街区を調査し、内部のようすの違いがわかりました。

(写真提供：宮城県教育庁文化財保護課)

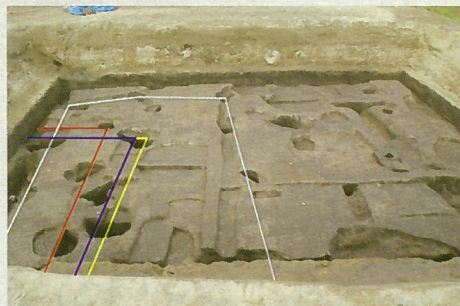


新田遺跡

—第95・97次調査—

古代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、井戸跡のほか、畑の畝の痕跡と考えられる小溝群を発見しました。

また、土地の区画や用水・排水に利用されたと考えられる中世の溝跡を発見しました。



山王遺跡

—第127・128・135・136次調査—

古代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、溝跡などを発見し、ここが基盤の目のように整備された古代のまち並みの一角であったことがわかりました。

さらに、中世と近世の掘立柱建物跡、井戸跡、溝跡などを発見しました。



山王遺跡

—第137・139次調査—

古墳時代前期の水田跡を11区画確認しました。時期が特定され、区画の規模や畦畔の方向が明らかになりました。

また、畑の畝の痕跡と考えられる古代の小溝群も発見されました。



西沢遺跡

—第24・25次調査—

古代の竪穴住居跡、溝跡、土壌などを発見しました。

竪穴住居跡は、同じ位置で建て替えがあったことが確認でき、新旧いずれの住居跡とも、カマドの構築材として瓦が再利用されていました。



桜井館跡

—第3次調査—

小独立丘陵に立地した中世の館跡の、ほぼ全容を解明しました。

中央部に設けられた平場と、その西側と北側の縁辺に造られた土塁と空堀(堀切)各1条を確認しました。

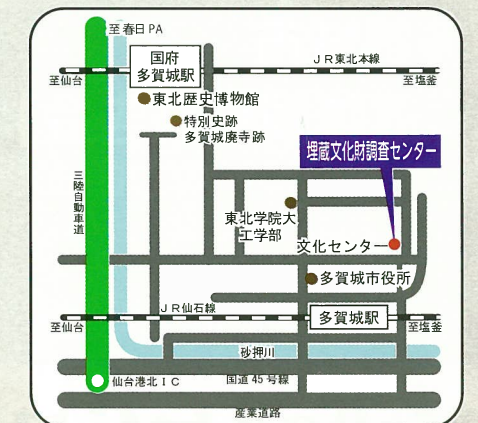


八幡館跡

—第7次調査—

館跡の南西隅で調査し、中心部に向かう南北方向の通路と、それを埋めて造られた東西方向の土橋を確認しました。

土橋は、丁寧な盛土によって構築され、その両側に自然石を積み重ね堅固なつくりをしています。



多賀城市埋蔵文化財調査センター

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27-1
022-368-0134

JR仙石線 多賀城駅より徒歩5分
仙台東部道路「仙台港北IC」から車で10分